

情報教育だより

宮城県立光明支援学校

2026年 9月11日 (金)

教育情報化推進リーダー

No. 1 担当 加藤 明日香

本校のICT活用の様子をお伝えします。

昨年度に引き続き今年度も情報教育だよりを発行し、各学部・課程のICTの活用の様子や情報教育がどのように行われているのかお伝えしていきます。児童生徒が真剣に活動する様子や楽しく学習をする様子を学部ごとの記事を通してお届けします。

小学部A課程



中学年の遊びの指導「みんなで遊ぼう」、高学年の生活単元学習「体を動かそう」の学習では、箱車を使った活動を行いました。箱車に iPad を付けて FaceTime を使用し、箱車の前方（児童の表情）と後方（進行方向）の映像をテレビに映し、待機している児童も活動の様子をリアルタイムで見ることができるようになりました。児童は友達の様子や進行状況を見ながら自分の順番を楽しみに待ち、活動への期待感を高めていました。

中学部B課程



生活単元学習「校外学習へ行こう」のオリエンテーションでは、大きなスクリーンに写真やイラストを表示し、行き先やどのような活動をするのかイメージしながら学習をできるようにしました。伊達政宗公騎馬像や笹かまぼこなどの写真を示し、写真について教師が質問すると、元気に手を挙げて答えるなど、意欲的に取り組んでいました。



音楽の時間では、プロジェクターに映されたイラストを見て、授業の振り返りをしています。教師が差し棒でイラストを差し、生徒自身が感じた気持ちに近いものに手を挙げて感想を共有しています。

高等部B課程

生活単元学習「季節を感じよう～泉ヶ岳の四季～」では、iPadを活用した表現活動に取り組みました。白地の山が段階的に緑色に染まっていく制作過程を撮影し、コマ送り動画（タイムラプス）として記録・視聴する活動です。

静止画では捉えにくい「時間の経過」や「自分の活動の積み重ね」を動画で可視化することで、色彩の変化や完成までの道のりを、生徒が具体的に実感できるよう学習を進めています。

